

授業科目 栄養教育論Ⅱ

【担当教員名】 斎藤トシ子		対象学年	3	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【一般目標：G O】 身体的、精神的、社会的状況等ライフステージ及びライフスタイルに応じた栄養教育のあり方、方法について修得する。					
【行動目標：SBO】 1. 妊娠・授乳期の栄養教育の基本が説明できる。 2. 乳・幼児期の栄養教育の基本が説明できる。 3. 学童期の栄養教育の基本が説明できる。 4. 思春期の栄養教育の基本が説明できる。 5. 成壮年期の栄養教育の基本が説明できる。 6. 高齢期の栄養教育の基本が説明できる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	成壮年期の栄養教育（肥満者への栄養教育の要点等）			5.	講義
2	成壮年期の栄養教育（糖尿病患者への栄養教育の要点等）			5.	講義
3	成壮年期の栄養教育（高脂血症者への栄養教育の要点等）			5.	講義
4	成壮年期の栄養教育（腎臓病者への栄養教育の要点等）			5.	講義
5	幼児期の栄養教育（幼児期の特性、栄養教育の要点等）			2.	講義
6	幼児期の栄養教育（偏食・食物アレルギーがある幼児への栄養教育の要点等）			2.	講義
7	学童期の栄養教育（学童期の特性、栄養教育の要点等）			3.	講義
8	思春期の栄養教育（思春期の特性、栄養教育の要点等）			4.	講義
9	思春期の栄養教育（スポーツ実施者への栄養教育の要点等）			4.	講義
10	妊娠・授乳期の栄養教育（母性栄養の意義と特性、栄養教育の要点、妊娠中にみられる疾病別栄養教育の要点等）			1.	講義
11	妊娠・授乳期の栄養教育（授乳婦の特性、栄養教育の要点等）			1.	講義
12	乳児期の栄養教育（乳児の特性、乳汁栄養及び離乳食の進め方等）			2.	講義
13	高齢者の栄養教育（高齢者の特性、栄養教育の要点等）			6.	講義
14	高齢者の栄養教育（咀嚼、嚥下困難者への栄養教育の要点等）			6.	講義
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		未定			
参考書		第六次改定日本人の栄養所要量	健康・栄養情報研究会	第一出版	1999年 ¥2,200＋税
その他の資料		必要に応じてプリントを配布			
【評価方法】 出席状況、授業中の態度、小テスト、課題発表、定期試験から総合的に評価する。			【履修上の留意点】		